



第 436 号
2005 年
2 月 15 日
京大職組
経済学部支部発行

新入組合員の紹介



徳賀芳弘 新組合員

山口県下関市の生まれです。これまで、福岡 28 年、下関 28 年、熊本 4 年、京都 28 年、シアトル 28 年と移り住みました。現在、応仁の乱の発祥の地である「上御霊神社」の近くに大勢の野良猫たちと住んでいます。京都の自然や町並みは美しく、インフラの意図的な不整備を差し引いてもすばらしさを実感しています。今年は、ほぼ毎日、通勤時にお花見を満喫できました。

専門は、国際会計と財務会計ですが、近年は、事業創成講座の一員として研究開発投資の効率性等の問題にもチャレンジしています。

趣味は、スポーツ、釣り、食べ歩き、寺巡りです。海での大物釣りに興味のある方は是非ご連絡下さい。一緒に緒させて頂きます。

微力ではありますが、経済学研究科の一員として努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い指導下さい。

××××××××××××××××××××××××××××
マズワナ ジャン・クロード 新組合員

平成 19 年 4 月から京都大学でお世話になっております。マズワナ ジャン・クロードです。平成 15 年に名古屋大学にて博士号取得後、日本福祉大学勤務を経て京都に來ました。

専門はビジネス・コミュニケーション、金融システム論、開発経済です。京都に赴任する際、新しい職場がどんなものか想像もできませんでした。有名国立大学ら

しい優秀なスタッフや膨大な資料、そして学びに積極的な学生に迎えられ、大変充実した毎日を送っています。教員や事務の皆さんにはいろいろと助けてもらっています。今後は、研究・教育活動を通して、京都大学そして社会全体に貢献できるよう頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

××××××××××××××××××××××××××××
渡辺純子 新組合員

数カ月前に原稿依頼を受けていたにもかかわらず、提出が大変遅れてしまい、「もぐき原稿」になってしまいました。

昨年 4 月にこちらに赴任しましたが、前期は前任校東京調布市・電気通信大学と併任で毎週一泊三日コマの講義で大変でした。「併任」といって、お給料が倍もらっているかと誤解されることもあったのですが、お給料も交通費も出ません。後期は京大の講義(準備)などに追われていました。そんなこんなもあって、あまり時間的余裕がなく、京都にいる時はほとんどが家と大学の往復で、新たな生活をゆつたりと十分に楽しむに至っていないのが残念です。

とはいえ、組合の行事や来訪者の京都案内なども含めて、何度かは名所旧跡を見て回りました。京都在住だと国内外からの来訪者も多く、しかも期待水準も高い(食事・観光案内)のでこれもまた結構大変です。「京都で粟せんざいのおいしい処を探しておく」という宿題も与えられているのですが、それに限らずいいお店情報ありましたら、教えていただけるとありがたいです。



支部メンバーの交流と相互理解促進の新たな試みとして、今年新規加入頂きました徳賀先生、渡邊先生、マズワナ先生、三人の研究テーマを中心とし、自己紹介も

兼ねた「学習会」を企画しました。

第一回目は、九月三十日。発表者は、徳賀先生、渡邊先生のお二人で、急な呼び掛けにも関わらず、多数の出席がありました。

徳賀先生の発表から始まり、趣味などを交えた自己紹介の後、先生が今、研究なさっている会計基準の国際比較をパワーポイントを使って丁寧に説明して頂きました。各国の会計基準により同じ値でもかなり違う結果が導かれることに興味を感じました。

また、渡邊先生は、綿業について研究されていて、様々な場所に訪問して資料集めに奔走している様子があったかきました。特に古い資料は、まだまだ遡及入力が進んでいないので、コンピュータ検索ではなかなか思うように資料が探せないと思います。やはり目で集めるといった感がありました。図書室でも和書は全体の三分の一程度しか未だ、OPACに登録されておらず、カードでの検索が必須です。

お一人には短い時間で発表ということ、こちらの準備不足で、多々迷惑をおかけしたと思います。本当に有り難うございました。

マズワナ先生は、目を改めまして、十一月二十七日に発表していただきました。母国や趣味の紹介で盛り上がったところで、マズワナ先生のご専門のビジネスコミュニケーションのお話がありました。後半は英語の発表となり、また、他の教員からの質問も飛び交い、非常に活発な意見交換ができたかと思えます。

同じ学部には所属していても組合員のメンバーがなかなか現在、何を研究しているか、わかりにくいもの。メンバーの交流と相互理解促進にかなり、役立てたかと思えます。

徳賀先生、渡邊先生、マズワナ先生、お忙しい中、誠に有り難うございました。

第三弾は職員からも・・・という声もあります。ですが、どうなりますでしょうか???



去る11月28日に、組合の散策会が行われました。目的地は岩倉美相院。良い天気で、バスに乗るため走った私には暑すぎるくらいだったのですが、さすがに岩倉まで北上すると、バスを降りた瞬間から「皆さん、寒い」の連続でした・・・。

参加されたのは、細川さん、坂出先生、Maswana夫妻とお子さん、Iain azov先生、中村さん、渡邊先生、原さん、竹澤夫妻、宮嶋の12人でした。遅れるメンバーもなく、順調にそろったところで、まずは美相院の見学から。ここは元天台宗の門跡寺院で、昔から岩倉門跡と、岩倉御所とも呼ばれています。ちなみに門跡寺院とはその任職が天皇の血縁者であった格式の高い寺院のことで、代々皇室から莫大なお金を頂いて栄えていました。大きな建物ではありませんが、しっかりとした木で作られており、往時をしのばせます。

雨のため、一度散策延期になっており、紅葉の見頃としてはどうかとの心配もあったのですが、まだまだ色づき始めといったところ。今年はまだ寒くならなかったのが急に冷え込んだせいか、一面の紅葉とはいきませんでした。美相院の紅葉で有名なといえば「床紅葉」。磨き上げられて黒光りする床に、庭の紅葉が映り込んで、とても美しいです。腰を下ろしたぐらいたと、床に映った風景は、ぼやけていて、「たいしたことない」感じなのですが、すれすれまで顔を近づけると、くつきりと枝の形で映っていて、松の緑との対比も美しく、不思議な世界です。

また美相院には、狩野派の画家たちの描いた襖絵等が



たくさんあり、普通では見られない素晴らしい作品が襖や戸、障壁画として使われています。七賢人の襖絵の前で、解説のとおり、本当に七人いるか確かめたりしてしまいました。

その他にも幕末の倒幕・佐幕両派と繋がりがあったと言われています。代々の門主等が書きつづけた美相院日記の公開も行われていて、美相院を訪れた人名には、かの坂本龍馬の名も見受けられました。

次の岩倉具視邸では、

なんと坂出先生がレジユメをご用意して下さいました。幕末好き、このことですねと手書きのおすすめブックガイドと人物相関図つき!!なんでも、ここ岩倉具視幽楼旧宅は、公武合体を押し進め、和宮降嫁を実現させた岩倉にたいして、尊皇派からの圧力がかり、暗殺の危機にさらされた際に、岩倉が幽居していたところなのだから、とはいえ、幽居中も活動は続けていたそうです。

その後はゆったりと散歩しながら昼食を予約していたレストラン、エヴァンティユへ向かいました。途中、野焼きなどもやっていて、のんびりした風景です。予約よりだいぶ早く着きそうだったので、心配だったのですが、きちんと対応して下さいました。

落ち着いたフレンチレストランで、コースで頂いたランチはリーズナブルなものになかなかのもの。デザートがケーキとムース等の盛り合わせになっていて、甘党さんにはお勧めです。ワインはちと高め・・・でしたので、

酒飲みの方にはお勧めしませんが・・・。

(宮嶋組員)

宮嶋さん、またまた急なお願いにも関わらず、秋の散策のレポート有難うございました!残念ながら編集者は参加できなかったのですが、とてもよかったですね。坂出支部長の豪華?レジユメ付き!羨ましいです。来年はどこになるのでしょうか、楽しみます。

経済学部支部 最近の出来事



10/27 第二回学習会

第一回目はマスワナ先生の発表でした。特集記事で詳しく解説しています(1p)

11/28 秋の散策

雨で流れてしまった前回の仕切り直し。秋の岩倉に行きました。詳細なレポートは2pをご覧ください。

12/20 アンケート実施

非常勤の方へのアンケートを実施しました。寄せられた多くの声を今後の活動に活かしていきたいら、と思っております。ご協力いただいた皆様、お忙しい中、有難うございました。

2/4 経済学部支部 新年会

「門」で行いました。皆で名物「ちゃんこ鍋」をつつきながら、少し遅めの新年会を楽しみました。

編集後記



いつの間にか、もう二月。今回であらぶさの編集をバトンタッチいたします。二号しか発行できなかったのは一重に編集者の力不足です、でも、良い経験をさせていただきました。ありがとうございました!